

# ありがとう「塩見岳」

日程：2015年9月20日（夜発）～22日

メンバー：藤野(L)、斎藤光子

報告：斎藤光子



十数年前、5月の連休の残雪期に一度登りかけた事がありました。鳥倉林道からどの位歩いたか？

この年は雪が深く息も絶え絶えで歩いていた時、一人の青年が雪の中から降りて来て話すうち、「雪が深く、三伏峠までは行かれず諦めて降りてきました」と云うではないか。十数年前とは云え青年が無理なら我々ももっと無理！即、止めようと決定。戻るときの気持ち共々足取りの軽かったこと、今でも思い起こすとニンマリですがそれ以来、気にはなっていましたが「塩見」の名は埋没してしまいました。

今回、5連休直前天気は良さそう、さて？どこ行こうか？ 塩見だ！！9月も20日、花はないけど久しぶりの山にスイッチが入りました。

とは云うもののいきなりの急登に体が重い、足が重い、上がらない。行程の標識が1/10、2/10、3/10となっている。早く8/10とか9にならないかな～と前に進む。途中の水場で一息、山での水場は本当にありがたいものです。今日は連休の3日目、下って来る人も多く声を掛け合う。昨夜の三伏峠小屋は大混雑だったそう。11時小屋に到着。昼食後烏帽子岳に向かい、塩見岳、小河内岳の展望を楽しみ急にガスが湧きあがって一面ガスに覆われてしまった烏帽子岳を後に小屋に戻る。今日の小屋はほぼ満員、30代～40代の縦走組が目立っていました。小屋の規則は夜は7時半消灯、4時半朝食。

二日目、5：15出発し三伏山の先で朝日を迎える。進むに連れて塩見岳が大きく迫ってくる。建て替え中の塩見小屋は休日にも関わらず工事が進められている。小屋を過ぎると岩稜帯となり、落石に注意しつつ慎重に行く。塩見岳西峰に着く。東峰を眺めると頂に立つ人達のシルエットが美しく浮かんでいる。我々もすぐ目の前の東峰に向かう。360°の素晴らしい展望にしばし見惚れる。

西峰に戻り休憩をしていると、ここでも仙丈岳からテントを担いでの縦走組の女性と話を  
する。

名残惜しくも振り返り々、塩見岳を後にす  
る。三伏峠小屋に近づくとつれ昨日同様ガス  
が湧いて周りの景色を覆い隠しはじめた。や  
はり山の行動は午前中が肝心と実感しました。  
小屋には思いのほか早い到着だった為、この  
まま下山する事とし鳥倉登山口へ向け長い長  
い下りとなりました。

疲れ果てた体も、気になっていた塩見岳を登  
ることが出来て大満足の山行になりました。



#### <コースタイム>

一日目：鳥倉登山口 7:55～豊口山分岐 10:30-40～三伏峠小屋 11:05-50～烏帽子岳 12:30～三伏峠小屋 13:20  
二日目：三伏峠小屋 5:15～三伏山 5:25-30～本谷山 6:25-30～塩見小屋 8:10～塩見西峰 9:25～東峰 9:30-35  
～西峰 9:40-10:00～塩見小屋 11:00～本谷山 12:45-50～三伏峠小屋 13:55-14:15～鳥倉登山口 16:30